

会議名	令和2年度第1回桜ヶ丘病院地域協議会
開催日時	令和2年10月21日 13:30~14:30
開催場所	岡生涯学習交流館 2階会議室
出席者	<p>地域代表 : 小林 靖明 (清水区岡地区連合会自治会会長)  堀谷 一世 (清水区岡地区連合会自治会副会長)  穂積 正 (清水区岡地区連合会自治会副会長)  松浦 和良 (清水区岡地区連合会自治会幹事)</p> <p>行政代表 : 山本 哲生 (静岡市保健衛生医療課課長)</p> <p>桜ヶ丘病院 : 遠藤 和美 (事務長)  岩崎 厚子 (看護部長)  粉川 忠丈 (事務長補佐)</p>
<p><b>【内容】</b></p> <p>①今年度構成員の確認  ②病院からの報告・連絡事項  ③桜ヶ丘病院への要望・確認事項</p> <p>(病院より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務長挨拶</li> <li>・常勤医師が少ない問題は解決していないが、県立総合病院と静岡市立病院の協力を得て内科医師を各週1回派遣していただくことになった。</li> <li>・耐震工事の入札準備は進めているが、耐震工事をしてしまうと今後新築工事ができなくなるかもしれない。公告の締切までに静岡市と移転場所が合意に至れば耐震工事をせず新築工事の準備に入れていると考えている。</li> </ul> <p>(地域代表より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の耐震工事の状況は理解できた。住民側としては近隣で桜ヶ丘病院を存続して欲しい気持ちに変わりはないが、最終的になくなってしまうことが一番困ることである。なんとか今後も存続できるよう進めて行って欲しい。  → 存続に向けて努力をしていく</li> <li>・新型コロナの感染対策、診療について現状はどうか  → 現在も出入口を1カ所に絞り受付係員を配備しウイルスを持ち込まないよう対策を実施している。当院は陽性患者を受け入れない病院であるので安心して今後も安心して受診をして欲しい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上、次回は翌年の開催予定とする。</p>	

会議名	令和2年度第2回桜ヶ丘病院地域協議会
開催日時	令和3年3月30日 16:00~17:00
開催場所	桜ヶ丘病院 岡生涯学習交流館1階会議室
出席者	<p>地域代表：小林 靖明（清水区岡地区連合会自治会会長）  堀谷 一世（清水区岡地区連合会自治会副会長）  穂積 正（清水区岡地区連合会自治会副会長）  松浦 和良（清水区岡地区連合会自治会幹事）</p> <p>桜ヶ丘病院：遠藤 和美（事務長）  岩崎 厚子（看護部長）  粉川 忠丈（事務長補佐）</p>

【内容】

①来年度管理者人事について

②来年度構成員の確認

③病院からの報告・連絡事項

- ・病院移転新築の進捗状況について
- ・静岡県立総合病院との地域医療連携推進法人について
- ・新型コロナウイルスワクチンについて

④桜ヶ丘病院への要望・確認事項

(病院より)

- ・事務長挨拶
- ・来年度管理者人事について  
4月より現在非常勤で県立総合病院より派遣で外来診療をいただいている森典子先生が当院の副院長に就任する。また3月末をもって遠藤事務長が異動し4月より現在四日市の総務企画課長である江川事務長が就任する。
- ・来年度の構成員の確認  
今年度は清水医師会長の望月先生にも内諾頂き、行政と地域住民を交えて協議会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響もありスケジュールに大変苦心をしてしまった。病院の移転新築も正式に決まったところであり、次年度は早々に全員集まって協議会を実施したいと考えている。
- ・病院移転新築の進捗状況について  
昨年12月に無事静岡市と協定を締結し、現JR清水駅東口公園の場所に建築することが決定した。地域住民の方々からの反対意見は当然理解をしているが、決定した以上は災害時にも病院機能が保てる強固な病院を建築し、将来清水区の皆様にご理解を頂けるよう職員一丸となって努力をしていく所存である。
- ・静岡県立総合病院との地域医療連携推進法人について  
清水地区への医師派遣を主目的に静岡県立総合病院との間で県内初の地域医療連携

推進法人を設立し、近々正式に認可されることになる。今後は定期的な医師の派遣を予定しており、まずは県総の副院長である森典子先生が当院の副院長に就任することが決まっている。連携法人設立により常勤医師不足が少しずつでも解消していくことが期待される。

・新型コロナウイルスワクチンについて

県内で唯一、当院が先行接種病院に決まり、2月19日より職員約270人への接種を実施した。大きな副反応もなく無事に2回の接種を終了し、余剰のワクチンについては県と連携し清水医師会で288人接種することになり1回目の接種が始まったところである。

(外部委員より)

- ・清水駅近くへの病院移転については納得のいかない部分が多い。地震が起き津波が発生した際、この付近の住民は駅近くの病院に現実的に診察に行くのか？

→ 災害が発生することで病院にたどり着けない職員もいるはずであり、そのような職員は近隣の救護所で職務を遂行することになると考えている。病院では避難が遅れた住民への対応をしつつ、桜ヶ丘病院の職員は各所での救護所で対応をすることになるので、近隣の皆様は近くの救護所で処置をしていただきたいと考えている。

- ・駐車場台数は確保できるのか、付近の住民数を考慮すると今より自動車を利用する患者は多くなるはず。

→ 場所が変わることで、病院が遠くなる患者もいれば近くなる患者もいる。離れてしまう地域の皆様には大変申し訳ないが公共交通機関か自家用車を利用していただきたい。駐車場は1階がピロティ構造となっており、90台程を予定している。近隣の市営駐車場も利用できるよう検討している。

以上、来年度の継続依頼と来年度の早い時期での開催を確認した。